

## 御笠川那珂川流域下水道御笠川浄化センター下水汚泥固形燃料化事業の概要

### 1. 事業概要

本事業は、御笠川那珂川流域下水道御笠川浄化センター（福岡県福岡市博多区那珂4丁目5-1）において、福岡県がバイオマス資源である下水汚泥から燃料化物を製造し、石炭の代替燃料として有価で供給する事業で、燃料化施設の設計・施工・維持管理運営・燃料化物買取りを一括して民間事業者へ委託する DBO（Design:設計、Build:施工、Operate:運営）方式が採用されています。

### 2. 施設概要

- |               |  |
|---------------|--|
| (1) 処理方式      | 低温炭化方式   |
| (2) 施設能力      | 脱水汚泥 100t-wet/日 × 1 基  |
| (3) 計画汚泥処理量   | 脱水汚泥約 30,000 t-wet/年   |
| (4) 燃料化物製造量   | 約 3,800 t/年（年平均生成量）  |
| (5) 燃料化物性状    | 高位発熱量 14.1MJ/kg  |
| (6) 事業期間      | 設計・施工 契約締結日～2019年3月<br>維持管理運営 2019年4月～2039年3月<br>燃料化物買取 2019年4月～2039年3月  |
| (7) 温室効果ガス削減量 | 約 5,800t-CO <sub>2</sub> /年（当社試算）※<br>・下水処理場 約 900t-CO <sub>2</sub> /年<br>・火力発電所 約 4,900t-CO <sub>2</sub> /年<br>（※一般家庭 約 1,100 世帯/年の CO <sub>2</sub> 排出量に相当） |

### 3. 事業概要図

